

# 糸我小学校だより

令和3年8月6日



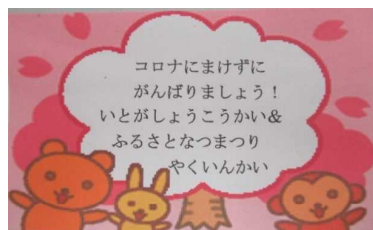
## こんなこともありました。

少々時間が経っていますが、お知らせします。

### 「ポップコーン」をいただきました

7月11日（日）に予定していました「糸我ふるさと夏祭り」が、コロナ渦のため中止になってしまいました。きっと子供たちも残念な思いをしたことと思います。

そんな子供たちに、糸我地区商工会と糸我ふるさと夏祭り役員会の方々が、7月20日（火）の1学期終業式の日、ポップコーンを配ってくださることになりました。朝早くからかぐのみ会館に集り、子供たちのために、何時間も一生懸命に鍋を振って作ってくださいました。そして、全児童分（教職員の分まで）を学校に届けてくれました。しかも、一人一人の袋の中に右のようなメッセージカードが入っていました。子供たちは、できたてのポップコーンを手に笑顔満面で帰って行きました。きっと、ご家族でポップコーンを囲み楽しい時間を過ごされたことと思います。



### 「飛び出し坊や」の設置

7月18日（日）「飛び出し坊や」を設置作業を行いました。糸我地区連合自治会が中心となり育友会役員の方にお手伝いいただき設置していきました。糸我は細い道が多く基盤の目のようになっているのが特徴です。そのため、見通しの悪い交差点がたくさんあります。それにもかかわらず、結構なスピードで走る自動車も少なくありません。今回の設置作業は、糸我地区の交通安全を願う自治会の方々が提案してくれ実現しました。設置場所は、糸我小学校の保護者の方にアンケートを取り、23カ所が決定しています。今年度は「飛び出し坊や」の配分数の関係もあり、13体設置しました。残り10体は来年度設置する予定です。新しくなった「飛び出し坊や」で、交通安全を心がける人が増える事を願っています。



交通安全…



### 水質と水生生物調査

7月21日（水）に、糸我地域資源保全グループ主催による水質と水生生物調査が実施されました。3・4年生の希望者21名と教師4名も参加し、講師の先生と先生にたくさんのことを教えていただきました。

はじめに、「田んぼの学校」に行き、アイガモのいる田んぼの土とない田んぼの土をさわって感触を比べました。アイガモのいる田んぼの土の方が、やわらかいことが分かりました。アイガモが泳ぐことで土がかきまぜられやわらかくなり、稲がしっかりと根をはることができるということを教えていただきました。

次に、近くの小川に行き、そこに棲む生物の観察を行いました。子供たちは、メダカやカワムツなどを見つけることができました。

その後、公民館に戻り、子先生と先生の講義を受けました。水質を分析する方法を教えていただき、実際に糸我の小川の水質を調べる実験もしました。その結果、水がきれいであることが分かりました。また、糸我で見られる水生生物のことや、田んぼの役割や米をつくってくれる稲のすばらしさなどを教えていただきました。

子供たちはこの調査を通して、近隣の小川に棲む生物に興味を持ち、また、きれいな水や自然を保全していこうという意識を持つことができたと思います。



### 「国語」っておもしろかったんだ教室

#### ～有田市子どもの居場づくり推進事業～

これは、有田市教育委員会生涯教育課が主催で、平成27年度から続いている事業です。“夏休み中の子供の居場所づくり”と“学習習慣の確立”を目的にしています。以前から初島小、港小、田鶴小で実施しており、今年度、糸我小学校でも実施することにしました。3・4年生を対象に7月26日～8月6日の10日間、9時から11時まで国語の学習をします。糸我小学校で教えてくださるのは、古川薫先生と川口卷子先生のお二人です。

子供たちは、朝から学校に来て国語の勉強を一生懸命しています。つい不規則になりがちな夏休みですが、こうして頑張っている姿に感心させられます。



